

【イタドリ等の雑草の生育を抑制する技術】

室蘭開発建設部

令和7年9月8日作成

注意: マッチングにおいては現場試行調査を実施することを前提としております。

マッチング成立後は現場試行実施箇所をニーズ提案者が提供することが必須となります。

1. 技術を求める背景

道路において路肩法面や歩道脇にイタドリが繁茂し、視界不良や歩行者の通行に支障が発生し頻繁に除草を求められることや、通常の雑草より丈夫なため刈りづらく、機械除草の効率性の低下、機械への負荷が大きく故障の一因となっている。また、中央分離帯や歩車道境界縁石背面から生えてくる草により通行する車両の視程の障害となり、除草が必要等の課題がある。

毎年1回除草を行っているが、年々雑草の根が太くなり生長が早くなっているため、除草回数を増やさないと1度根から雑草を取り除きたいが、舗装と縁石の狭い隙間から生えてきていることから、取り除くためには舗装を剥がして復旧する必要があり高コストとなるため、低コストでできる「雑草を取り除く技術」または「雑草の生長を著しく抑制する技術」を求めている。

生育が著しい箇所は、頻繁に人力除草を行い生育の抑制を行ってきたが、維持管理費の増大の要因となっており、新たにコストダウン・省力化等の必要性があり、イタドリ等の雑草の生育を抑制する新技術を求めている。

2-1. 求める技術とスペック

記載項目の例

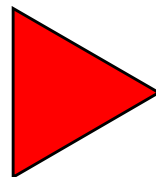
- ・ イタドリの生育を抑制する技術
- ・ 技術に求める具体的スペック【費用、効果、使用環境（沿道住民や歩行者等への影響）】
- ・ 提案企業に求められることが想定される作業規模【作業頻度（回/月）、所要時間、費用感など】
- ・ 装置に求める要件【育成抑制効果の期間】
- ・ スケジュール【実証実験までにイタドリの生育を抑制する技術の準備が出来ていること。】

本案件において、全工程の一部の解決に資する提案でもエントリー可能ですか 【不可】

2-2. 求める技術とスペック



■ 除草前（予防的除草）



■ 除草後



■ 人力除草

2-2. 求める技術とスペック

写真・図 等 資料・イメージ



3. 提案にあたっての条件

●mustの条件

イタドリの生育を抑制または枯らすことが出来る技術。

●mustではないが、望ましいまたは期待する条件

気温や天候等の様々な気象条件状況下でも使用できる技術が望ましい。

効果が長期的に持続するものが望ましい。

●必ず不可とする条件

歩行者や動物への影響がある場合は対象外。

4. 留意点

- その他、案件に関する前提条件や留意点、提案企業に提案書に記載して欲しい事項があればご記載ください。
 - ・歩道部で使用するケースがあるため、沿道住民や歩行者等への影響
 - ・対象となる延長が長いため、効率性や費用面から実現可能な工法